

TNVN
Network News

100号を迎えて

東京日本語ボランティア・ネットワーク(TNVN)の《活動目的》の第一番目は「日本語ボランティアに関する情報の収集・発信」で、「TNVNネットワークニュース」がその一端を担っています。'93年12月TNVN設立後、'94年2月に創刊号が発行され、設立25年目に当たる'17年12月には100号を迎えました。ニュースレターの編集・校正・発送は、現在、編集スタッフ9名で行っています。

▶▶▶TOP PAGE◀◀◀

特に「総会、情報・意見交換会」の結果概要を報告しています。

会員同士が直接、顔を合わせ、活動に関わる課題や状況をお互いに共有する機会として、総会後に懇親を兼ねた情報・意見交換会を設けています。

加えて、'15年と'16年の12月には情報・意見交換会を単独で開催しました。情報・意見交換会では、その都度、各団体から活動内容や身近な問題が報告されています。95号にはここ数年間の情報・意見交換会で採り上げられた、ボランティア日本語教室が抱える問題・課題を纏めています。

▶▶▶紙上講座◀◀◀

81号から金子広幸先生に執筆をお願いしている紙上講座には、日常生活で気づく多面的な事象を現場での日本語学習

支援に役立つように、ヒントが含まれています。毎回楽しみにしている読者が多いです。

▶▶▶Nice to Meet You◀◀◀

TNVN会員のボランティア日本語教室の紹介です。新たに入会した団体はもちろんのこと、長年会員として繋がりを持っている団体には2回目、3回目と執筆をお願いしています。掲載団体の楽しく特色のある活動が紹介され、ほかの団体にとって、新たな活動のヒントにもなるようです。

▶▶▶日本語ボランティアの現場から(学習者の声、ボランティアの声)◀◀◀

学習者の声には、「ことばを学ぶことの大切さと楽しさ」、「日本語教室サークルは私の大切な空間」…などなどと思いが綴られています。ボランティアの声は学習者との出会いが「楽しいひと時」「交流・親睦を大切に」「『ご縁を』大切にしたい」など…と前向きな気持ちが述べられています。

▶▶▶私の国から◀◀◀

東南アジア、中東、アフリカ、ヨーロッパ、世界各地から日本に来ている学習者からの、それぞれの国のご紹介です。食文化を中心に祭り・行事など、日本人には未知の文化が学べます。

▶▶▶ZOOM IN◀◀◀

日本語ボランティアや外国人に関係のある団体、場所などを訪れ、取材しています。

ぜひ、取材してほしいという団体や場所がありましたらお知らせください。

▶▶▶寄稿◀◀◀

多文化共生社会に関わる記事を行う政・国際交流協会に、日本語学習支援に関わる記事を研究者やボランティアの方々に執筆をお願いしています。

▶▶▶特別記事◀◀◀

TNVNでは'10年11月に「わかる日本語」研究会を発足し、「わかる日本語」(やさしい日本語)についての成果を逐次ニュースレターで報告してきました。

▶▶▶グラフで見る◀◀◀

「ボランティア日本語教室ガイド」冊子発行と合わせて各教室の活動状況のアンケート結果をグラフ化し、そこから見えてくるモノを皆さんと共有したいです。

今後の発行にはこれまで以上に苦難が予想されます。まずは編集スタッフの高齢化がありますが、特に9号から毎号、見やすく、心のこもったレイアウトをしてくださった鶴田環恵さんの引退が痛手です。

でも、それはそれ、「TNVNネットワークニュース」を楽しみにしている読者の皆さんに、これまでと同様、日本語ボランティア活動に関わる記事を中心に、定期的な発行を守るべく励んでいきます。どうか会員の皆さんのご協力をお願いします。

TNVNネットワークニュース編集長 梶村勝利

TNVN Network News

100号へのひとこと

TNVN Network News No.100 を迎えるにあたり、「ひとこと」の執筆をお願いし、15 人の方々から励ましのお言葉を戴きました。お寄せいただきましたことにお礼を申し上げ、皆さまに「ひとこと」を紹介いたします。

「TNVN ネットワークニュース100号」 発行に寄せて

東京都生活文化局都民生活部長 **山本 明**

TNVN ネットワークニュースが、ここに100号を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。あわせて、梶村代表をはじめ、これまで編集に携わってこられた皆様のご努力に対し、改めて敬意を表します。

東京都では、平成28年2月に「東京都多文化共生推進指針」を策定し、日本人と外国人が共に活躍できる環境の整備などを目標として、各種の施策を展開しています。東京で暮らす外国人にとって最大の壁の一つは日本語の習得であります。

東京都ではこれまでも、やさしい日本語や多言語による生活情報の発信などを行ってまいりましたが、地域の住民として生活する外国人にとって、それだけでは十分とは言えません。そこで、非常に重要な役割を果たしているのが、日本語学習支援に携わるボランティアの皆様のご活動です。

TNVNネットワークニュースからも、現場でご尽力されているボランティアの方々の熱い思いがひしひしと伝わってくるとおり、地域の日本語教室におけるアットホームで創意工夫を凝らした交流が、東京で暮らす多くの外国人の生活、そして活躍に繋がる第一歩を支えているものと確信しています。

東京都は今後、区市町村や国際交流協会、外国人支援団体との連携を一層深め、さらなる取組の充実を目指してまいります。皆様が、多文化共生社会の

実現に向けて、更にご活躍されることを期待しています。



TNVNネットワークニュース 100号記念に寄せて

東京都国際交流委員会 事務局長 **猪瀬 美智子**

このたび、ネットワークニュースが100号を迎えられたとのこと、誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。

ひと口に100号といっても第1号から24年、ここに至るまで活動を支えている会員の皆さま方の御協力、御努力の賜物と存じます。

多くの外国人にとって、日本で生活するにあたり言葉の壁は非常に高いと聞きます。その壁を少しでも低くしようとする日本語ボランティアの取組みは、都内の外国人居住者が50万人を超える現在、ますます重要な役割を担っています。

この日本語ボランティア、教室間のネットワークの活性化には、情報共有を目的としたニュースの発行は不可欠です。現在進行形でお活動を推進する活力が漲っている紙面づくりに敬意を表します。

TNVNの活動が発展し、ニュースを通してさらにネットワークの絆が強まりますことを祈念いたします。

100号発行に寄せて

NPO法人IWC国際市民の会 **仁村 議子**

編集委員のみなさま、100号発行おめでとうございます。

私のお楽しみは「紙上講座」ですが、手に取った瞬間に読みたくなる紙面づくりには、「一体これはどういう人が作っているんだろう。」と、つい制作の裏側も覗いてみたくなる魅力があります。

「機関紙」を発行するのは大変なことですが、制作から発行までのプロセスもさることながら、「継続してこそ」だからです。私も自分が活動する団体の「会報」編集に携わっていますが、『TNVNネットワーク

ニュース』は偉大なお手本です。「編集委員は何名なのか、発行のどれくらい前に編集会議を開くのか」「版組みはどなたがしているのか」「印刷はどこに頼んでいるのか」さらには費用のことまで、梶村さんには質問ばかりしてきました。返ってくるお返事からはいつも手作りの熱意が伝わってきます。だからその24年、100号なんですね。101号、楽しみにしています。

「しゃべろう日本語」の会 **大塚 雅裕**

TNVNネットワークニュース100号、おめでとうございます。

こんにちは。文京区の千石で土曜日の午前中に活動している「しゃべろう日本語」の会です。私たちは2007年4月から活動しており、今年でちょうど10周年になります。初めのころは、TNVNさんからお越しいただいてボランティア活動についての貴重なお話を伺うなど、様々な方々からサポートをいただきました。おかげさまで、この2～3年は広報活動も広げることができ、学習者の皆さんや日本語の支援にご興味を持たれている方々にもだいぶ知られるようになりました。

TNVNネットワークニュースは、他の団体の活動やご意見に触れるための貴重な情報源です。やはり、地域ボランティアとしては他の地域の方々がどのような考えでどういう活動をされているか、問題解決にはどのように対処されているかなどを知りたいと思っており、今後もネットワークニュースでそのようなお話を聞かせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

スペース・アイ **山本 恵理子**

私たちスペース・アイは、平成15年から活動を開始いたしました。

日本語を教えるのではなく、日本語で「おしゃべり」をすることをモットーに活動しております。



近年の外国人の増加とともに 現在82名の外国人、62名のボランティアに成長いたしました。

私たちのグループでは知りえない情報等を、ネットワークニュースで知ることができ、大変有り難く思っております。紙上講座を楽しく読ませていただき、紙上教材を使わせていただいております。

また、TNVNのホームページより ボランティアにご参加くださった方もおられ、感謝いたしております。 これからもネットワークニュースを楽しみにしております。

TNVNネットワークニュース

100号達成に寄せて

まちだ地域国際交流協会(MIFA) **大和田 昭文**

ネットワークニュース100号達成おめでとうございます。

1994年の第1号発行以来、回数を重ね100号を迎えることとなりました。この間の道程は決して平坦なものではなかったと思いますが、私たちにとっては外部の情報に接することの出来る重要な存在でした。また自分たちの活動の様子を広く知っていただくためにも、情報発信の媒体として重要な存在でした。これは今後も変わることはありません。

思えば、TNVNさんとMIFAとの関係は深く、私たちの創立者がTNVNさんの創立者の一人でもあった、と伝え聞いております。そして現在でも私どもの複数の会員が、一人は編集委員として、一人は運営委員として役割の一端を担わせていただいております。

101号からはまた新たな目標へのスタートとなりますが、150号そして200号へと向かって頑張りたいと思います。大いに期待しております。改めて100号達成おめでとうございます。

光が丘ことばの会 **小野 寿子**

TNVN network news 100号おめでとうございます。

時代を先どりした活動は、常に初めての課題に向き合い続けなければならない、大変だったことでしょう。光が丘ことばの会は、今年9月に11年周年を迎えました。この間、私たちが安心して頼る先にいつもTNVN や、貴誌がありました。やさしい日本語や教え方のご提案、グループ活動の紹介等に、ヒントを沢

山いただきました。これからもずっと行く先に照らす灯であってほしいと思っています。

江戸川にほんご交流会B **岡田 啓子**

100号発行おめでとうございます。

1号1号、企画、原稿依頼、編集、校正など諸々の大変な作業を積み重ねられての100というこの数字、本当に素晴らしいです!!!

98号にあった外国人研修生の様々な現状など知らないことをわかりやすく解説して下さる記事や、金子先生の紙上講座を毎回楽しみにしております。ボランティア日本語教室からのいろいろな質問に答えて下さるようなコーナーなどもあったらいいと思います。

スタッフの皆様、これからもお体に気をつけて、楽しいニュースレターを私たちにお届けください!

日本語サークル「わかば」 **小林 薫**

「TNVNネットワークニュース100号」の発行、おめでとうございます。

当サークルは4年前の84号の「nice to meet you」のコーナーに掲載していただきました。当時、活動を始めてようやく半年がたったところで、あまり情報もなく、どのように運営していったらよいか迷うことばかりでした。「nice to meet you」に載ったことで、自分たちのサークルが世の中に認められたようで、うれしく思うと同時に、身の引き締まる思いだったのを覚えています。

その後サークルは大勢の方々に支えられ順調に活動を続けています。それでもまだ悩むことがありますが、「ネットワークニュース」で、ほかの教室が工夫を凝らし、楽しく活動している記事を読むと、おおいに励まされます。

これからも「ネットワークニュース」を参考に、仲間と楽しく活動を続けていきたいと思っています。

八王子国際友好クラブ **田中 卓**

東京日本語ネットワークが今年、設立25周年を迎えられることに心からお祝いを申し上げますと共に長年に亘る皆様のご苦勞に敬意を表します。

設立1993年と言えば私たち八王子国際友好クラブが日本語教室を開設した翌年に当り、当時、東京

都下では既にあちこちでボランティアによる日本語教室があり、皆様の当時のご活躍が今更ながら偲ばれます。

近年、八王子国際協会のボランティア養成講座には毎年、TNVNから講師を派遣していただき、大変好評でボランティア募集にも役立っています。またTNVNで作成された「ボランティア日本語教室ガイド」による日本語学習希望者からの問合せやTNVNから直接学習者をご紹介いただくなどTNVNからの情報発信や情報交換等が私たちの日頃の活動に寄与していることに感謝申し上げます。更に「わかる日本語」研究会の資料は「やさしい日本語」を推し進める上でたいへん役立っています。

TNVNネットワークニュース 100号記念に寄せて

府中国際交流サロン 副会長 **和田 泰弘**

TNVNネットワークニュースが、この12月に100号を迎えるとの由、おめでとうございます。24年もの長い間、発行され続けてこられたそのご努力に感嘆するとともに、いつも示唆に富んだ記事で、私達の日頃のボランティア活動に新しい気づきを喚起させていただいていることに感謝いたします。

私達、府中国際交流サロンも、今年で創立22年を迎えました。その間、ボランティアと学習者のコミュニケーションを図ることを目的に、「くろすろーど」という月刊会報誌を発行し、2015年12月には200号の節目を経て、今年10月で220号の発行を迎えることができました。

TNVNニュースにおかれましては、これからも、外国人への日本語支援に携わる我々ボランティアにとって、灯台のような存在で灯をともしていただくことを願いつつ、100号は一つの通過点として、貴誌の益々のご発展をお祈り申し上げます。

【こんにちは にほんご】代表 **大東 春代**

「TNVNネットワークニュース100号」おめでとうございます!!

TNVNとのご縁は日本語ボランティアを始めたばかりの約20年前、早稲田奉仕園の講座で梶村代表とお会いしたことに始まった。

その後、「ニュース」には、立ち上げに携わった二教室の紹介記事を書いて頂いたりして、お世話に

なってきた。中でも、「ニュース」を通じて日本語の教え方のヒントや他教室の活動状況、またボランティア活動についてのいろいろな考え方を知ることができたことは、先輩が全くいない新教室での運営に、何よりの指針となった。有難い存在であると、心から感謝申し上げたい。

しかし、今や地域の日本語教育の殆どを担っているというボランティア教室の現状はどうだろうか。社会にその存在意義が認められているのだろうか。十年前から変わらず、場所や人材の確保に苦労している。今後の「ニュース」に、その改善を何とか期待できないものだろうか。

TNVNネットワークニュース 100号記念に寄せて

LTC 山形 美保子

1994年に杉並区でグループを立ち上げ、あっという間に20数年が経ちました。ボランティア活動は地域に生活している外国人の方々のお手伝いを通して、自分たちも異文化多文化に接して様々なことを学べるものです。それが活動を続けられる原動力になるのだと思います。LTCは小さな教室ですが、その時代時代の世界や日本の今が反映されているようで興味深いです。教室にやって来る外国人も日本人も共に成長できるように、これからも無理をせず、身の丈にあったグループでありたいと考えます。

TNVNの活動に積極的に関わらず、申し訳ないですが、ゆるく繋がっていくことをお許しください。いつもお送り頂くニュースレターは勉強会で使わせていただいています。バラエティに富んだ記事に刺激をもらっています。今後ともどうぞ宜しくお願いします。



初歩日本語 小川 伶子

100号おめでとうございます

私の日本語ボランティア歴は、ネットワーク

ニュースの歴史と重なっています。地域の日本語ボランティア養成講座(6か月)を修了してすぐ、二人の

女生徒さんに頼まれて、手さぐりでただ熱意だけで始めたボランティアでしたが、NHKラジオから「日本語ボランティアグループを名簿にする!!」との話が耳に入り、NHKに電話をして「先ほどラジオで話していた方の電話番号を知りたい」旨を伝え、ネットワーク発足時に仲間入りさせていただきました。

以来、どんなに日本語ボランティア活動の助けになってもらったか計りしれません。

ささやかですが、スタッフとしてネットワークのお手伝いをしながら色々な事を学び二十五年もボランティアを続けています。

スタッフとは名ばかりですが、事務局のお手伝いをしながら100号のおめでたい時に出会いました。感謝!! 感謝!! おめでとう!!

ネットワークニュースレイアウト担当 鶴田 環恵

1996年4月8日発行の第9号よりネットワークニュースのレイアウトを担当して、もう20年余りの月日が経ちました。私自身と機材の老朽化により、記念すべき100号をもちまして引退させていただきます。

デザインの作業がコンピュータ化された時に始めたネットワークニュースのレイアウト。慣れないコンピューターやネットのトラブルなど、いろいろな思いがこみ上げてきます。梶村さんを始め、今までに携わったスタッフの方々のおかげで100号を迎える事が出来ました。皆さま本当にありがとうございました。これからも日本語ボランティアが末永く続く事を心より願っております。

編集委員 床呂 英一

祝福のお言葉に御礼申し上げます。

100号記念号に対し多くの方々の祝福のお言葉とありがたいご感想をいただき、心より御礼申し上げます。

ネットワークニュースが皆様のお役に立っているということを知るのは、編集委員としても大きな励みになります。これからもニュースに対する皆様のご期待に応えられるよう頑張りたいと思っています。



紙 上 教 材

しょう がつ

お正月



かどまつ
門松

日本の正月は1月です。1月1日から1月7日、または1月15日まで、新しい年のお祝いをします。正月は一年で一番大切な時です。

1月1日は元旦といます。日本人は、元旦に新しい年の神様(年神さま)が、みんなの家へ来ると信じています。

年神さまはみんなに健康や幸せを持って来ます。

年神さまからたくさんの幸せをもらうために、いろいろな行事や習慣があります。

元旦に年神さまをお迎えするため、12月から準備をします。家の中も外も掃除をします。きれいにすると、年神さまがたくさんの良い事を持ってきてくれると思っています。今は夫も妻も働いていますから、年の終わり近くになって大掃除をする家が多いです。

大掃除が終わってから「門松」を玄関の前に飾ります。最近は「門松」を飾る家が少なくなりました。「注連縄」や「注連飾り」も

飾ります。また、年神さまのために家の鏡餅を飾ります。

1年の終わりの日、12月31日を大晦日といます。仕事などのために家を離れているたくさんの人たちが故郷に帰ります。大晦日には長生きするように「年越しそば」を食べます。お寺では夜の12時前から12時過ぎまで108回鐘を打ちます。「除夜の鐘」といいます。人の心と体には108の悪いものがあります。

悪いものが出ていくように鐘を打ちます。最近では、若者を中心に、カウントダウンのイベントに行く人が多くなりました。

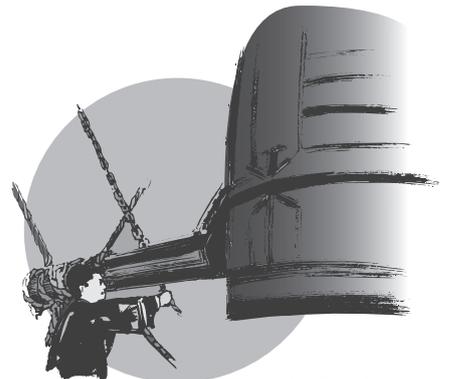
1月1日、新しい年になりました。家族いっしょに「あけましておめでとうございます。」と言います。「お屠蘇」で祝います。「お節料理」と「雑煮」を食べます。子どもは「お年玉」をもらいます。たくさんの人が神社やお寺へ初詣に行きます。健康と幸せを祈ります。



かがみもち
鏡餅



せちりょうり
お節料理



じゅん
除夜の鐘

わたしの 国の お正月



コロンビアの年末とお正月 インダリリア ガルシア (多摩市国際交流センター)

コロンビアの12月は、日本ほど寒くありません。半袖でなく長袖を着る位です。私の国では、お正月よりクリスマスのほうが大きな行事です。クリスマスが近づくと地域の人たちが集まって、サンタクロース、トナカイ、雪だるまなどの人形を作ります。教えてくれる先生がいて、皆で作って売ります。売れなかったのは家に飾ります。

12月24日の夜は教会のミサに行きます。教会は人でいっぱいになり、12時から立ったまま神父さんのお話を1時間聞きます。

新年は、カウントダウンで迎えます。

一番はじめに乾杯して、ハグしたり、友人達とダンスをしたり、にぎやかです。

家では12時に家族がそれぞれ、12個の葡萄を食べます。葡萄をひとつ口にいれるごとに、ひとつお願いを考え、それが叶うようお願いしながら食べます。葡萄は、どの色のものでもいいです。皮をとってもいいです。私の家ではしませんが、ワインで体を洗う人もいます。

旅行に行く予定のある人は、旅行カバンの中に自分のものを入れ、家の中や家の周りを歩きます。それは、楽しく旅行ができるよう、無事に健康に過ごせるようお願いのためです。

また、新しい年を占う「卵占い」があります。コップに水をいれ、そこにな

ま卵を割って

入れ、その卵のかたちを見ます。そのかたちに意味があります。それについて書いた本で調べて、新しい年がどんな年か占うのです。

クリスマスからお正月の間に、親戚の人たち、友人たちと集まります。皆で歌ったり、食事をしたりします。私は、トウモロコシの粉で作る甘いナティージャと、中にチーズの入ったドーナツのようなブニュエルが好きです。話していると、いろいろ昔のことを思い出します。

(談)



ミャンマーの水祭り

ティ ティ ルイン (まちだ地域国際交流協会)

ミャンマー人の私にとっては、夏といえばティンジャンと呼ばれる水祭りが思われます。新たな年をお迎えるミャンマーの最大の祭りです。ミャンマー暦での新年は4月です。毎年4月13日から16日までは人に水をかけて、17日

は新年となります。水をかける理由は自分の悩みや悪いことを旧い年に追いやり、あたらしい年には水のように涼しく平和な生活を迎えるということです。水祭りの間中、水をかけたりかけられたりします。また、踊ったり歌ったりもします。ティンジャンでもうひとつ面白いのは、アイテムがサドウディタと呼ばれる無料で配られ

る食べ物類です。その中で、私が一番好きなのはモンロンイェボウと言われる日本の団子のようなお菓子です。その時は、日本で言えば桜のような金色のバタウと呼ばれる花が全国でさいていて、いい香りがしてとてもきれいな時期です。そのティンジャンは一生忘れられないイベントであることは間違いありません。



ベトナムのお正月

グエン ヴァン ギェム (まちだ地域国際交流協会)

ベトナム語の“CHÚC MỪNG NĂM MỚI (チュック ムン ナン モイ)”という言葉はお正月中に誰でもいつでも相手に挨拶しています。旧暦(毎月の15日は満月日)によって、毎年最終日から新年の1月5日までだからお正月休みは7日間～9日間ぐらいです。ベトナム人にとって、お正月は最高の祭りです。お正月は家族の

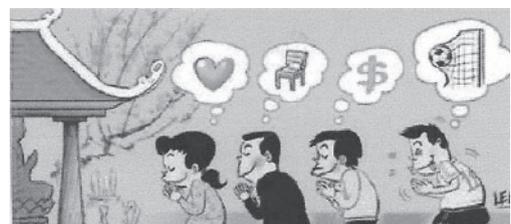
全員が集まるし、一緒に色々なことを行います。(MIFA ニュース No.129 から転載)



料理を作る



墓参りに行く



お参りに行く

◎「ボランティア日本語教室ガイド2018東京」 作成の作業を始めました

前号99号でお知らせしました通り、「ガイド2018」作成のための調査票を2017年9月22日から順次、各ボランティア日本語教室宛てにお送りしました。合わせて教室、学習者、ボランティアへのアンケート調査をお願いしました。

しています。10月13日から順次ご回答をいただいています。アンケートには多数の回答を、そして大変貴重なご意見等を載っています。日本語ボランティア活動の実態が浮き彫りになるよう報告の作成をして参ります。2018年2月に発行予定で編集作業を進めています。

◎TNVN25年を迎える新春のつどい

2018年12月6日はTNVN創立25周年になります。これに先駆けて1月28日(日)午後、JICA東京(千代田区麹町)で「新春のつどい」を開きま

す。まずは“狂言”を楽しんで下さい。そしてご参加の皆さんと懇談し情報交換の場とします。詳細は別チラシでご案内します。多数のご参加をお待ちしています。

◎恒例の「国際化市民フォーラム in TOKYO」が開かれます

- 日時／2018年2月3日(土)10:00～16:00
 - 場所／なかのZERO(中野区)
 - テーマ
外国人とともに推進する多文化共生社会
- 【第1分科会】持続可能な開発(SDGs)について(仮称)
- 【第2分科会】生活者としての外国人が考える多文化共生とは

【第3分科会】多文化共生社会を実現するための子どもの日本語学習支援(外国にルーツを持つ子どもの日本語学習支援の事例報告)

詳細は東京都国際交流委員会のホームページ(<https://www.tokyo-icc.jp/>)にアクセスして下さい。

◎「紙上講座 番外編」を同封しました

TNVN出前講座で講師を務める5人が今年の講座の紙上版を作成しました。ご参考になさって下さい。



column ● 町田で中国人の講演会を開催

私が所属する町田のある団体が9月下旬に講演会を開催しました。講師は素晴らしい活動をしている中国人です。この講演を紹介します。

主催者は「中国を知る会」です。町田市市民大学国際学講座の中国についての受講者が継続学習のため創立しました。

講師の孫秀蓮氏の経歴は次のとおりです。京都大学に留学後13年4月に滋賀大学大学院に進み、同年10月に『和華』を自費で創刊。15年3月、滋賀大学大学院前期博士課程修了。現在は、アジア太平洋観光社で『和華』の編集長というものです。『和華』についてはインターネットで調べてください。

この『和華』創刊については涙ぐましい努力がありました。

尖閣問題を契機に日中関係が悪化したのを憂い、日中文化交流の機関紙『和華』の発行を思いつき、編集等の作業を独力で行い、費用はアルバイトで賄いましたが、不足したため30万円の借金をしました。このことをマスコミが絶賛し、以後ボランティアや支援者が現れたようです。

講演会には「まちだ地域国際交流協会」の会長、副会長、前会長の参加の他、町田市国際交流センター会員、日中文化交流市民サークル「わんりい」の会員の数名なども参加されたのはありがたかったです。

講演の内容は『和華』関連以外にも「中国語になった日本語」など面白いものがありました。

(床呂英一)



TNVN 東京日本語ボランティア・ネットワークはボランティア日本語学習支援活動を行っている団体のネットワークです。TNVN の会員はそれぞれ地域での日本語学習支援活動を通して、言葉のため日常生活に不自由を感じている外国人などを、隣人として支援しています。TNVN は会員への情報提供・会員相互の情報交換、および外部との情報受発信を行い、活動の活性化を図ります。

東京日本語ボランティア・ネットワーク事務局の活動

- ◆日時：毎週金曜日午後2時～4時
第5金曜日/休み
- ◆場所
東京ボランティア・市民活動センター
JR、地下鉄(東西線・有楽町線・南北線・大江戸線)出口B2b) 飯田橋駅下車
セントラルプラザビル 10F ロビー
- ◆日本語ボランティア相談窓口
日本語ボランティアの活動についてのご相談・ご質問にベテランスタッフがお応えしています。メール・電話でご確認の上、気軽にお越し下さい。また、メールでのお問い合わせにもお応えしています。ご意見もお待ちしています。
〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸 1-1
東京ボランティア・市民活動センター
メールボックス No.4
- ◆TEL：03-3235-1171
(呼出：金曜日活動時間帯のみ)
- ◆FAX：03-3235-0050
- ◆E-mail：webadmin@tnvn.jp
- ◆URL：http://www.tnvn.jp/
- ◆郵便局払込
口座番号：00100-1-719259
加入者名：東京日本語ボランティア・ネットワーク

- ◆会員数(2017年11月4日現在)
正会員：89団体
個人協力会員：14名
賛助会員：3団体

- ◆編集／大木 千冬、岡田 美奈子、小川 伶子、梶村 勝利、神 歩、床呂 英一、林川 玲子、山内 眞理
- ◆レイアウト／鶴田 環恵